

一人芝居セレクション

まり や とも こ
毬谷友子 一人芝居「弥々」



～はい、はい、お初にお目にかかります、良寛様。私は弥々の娘でございます。～

劇作家の矢代静一が、娘である毬谷友子のために書き下ろした一人芝居。江戸後期の僧・良寛の語られなかった初恋の女性「弥々」は、良寛に想われていることを知りつつ、他の男に騙されて駆け落ちし、女郎に身を落とし、老いさらばえ良寛に金の無心に行く。最後には良寛の残した恋文を読み、救われ、気がふれたまま入水する…。過酷な運命に翻弄されながらも、明るく逞しく生き抜いた弥々の生涯。毬谷友子は16歳の少女から72歳の老女までを一人で演じ分けます。1992年紀伊国屋演劇賞、2002年文化庁芸術祭優秀賞を受賞。



【作】矢代 静一 【演出・出演】毬谷 友子

- 日時 2013年12月15日(日) 14:00開演(13:30開場)
- 会場 第1小ホール
- チケット 一般 4,500円 友の会 4,200円 **全席指定**
- 発売日 友の会 9月13日(金) 一般 9月20日(金)

ホール・ガイダンス

施設空き情報の確認

サンポートホール高松「施設予約管理システム」で、2年先までの空き情報がご覧いただけます

サンポート 空き情報

<http://www.reserve-sunport-hall.jp/bunyusr/usr>

●使用日の1年前の月の初日から2週間前まで、会議室、和室、リハーサル室、練習室の仮予約ができます。

携帯電話でのアクセスはこちら



受付窓口からのお知らせ

練習室は、1時間200円からとお安くご利用できます。なお、平日は比較的空きがございます。

受付時間 9:00～17:00(利用者登録・施設使用申請・お支払)

詳しくは財団ホームページ、またはお電話で。

<http://www.sunport-hall.jp/> ☎ 087-825-5000

サンポートホール高松友の会「さんぽーとCLUB」からのお知らせ

会員期間 1年間 年会費 1,000円

※会員の期間は、入会日から翌年同日の属する前月の末日までとします。会員資格を更新したときの会員期間は、更新前の会員期間満了日までの期間および、その更新の日の翌月初日から1年間とします。



特典

①②は、サンポートホール高松プレイガイドでのご購入に限ります

①チケットに関する特典

- 財団が指定する公演について、一般発売に先行して予約・購入することができます。
- 財団が指定する公演について、財団が定める会員価格で購入することができます。※会員価格で購入できるのは、会員お1人5枚までです。6枚目からは一般価格になります。

②入会・更新時の特典

- 入会(再入会含む)・更新ごとに、公演のチケット割引券(500円)1枚を差し上げます。チケット割引券はサンポートホール高松プレイガイドで販売する、財団が指定する公演チケットを購入するときに利用できます。

※ご利用の際は会員証を提示のうえ割引券をお渡しください。※割引券は再発行できません。※割引券は他人への譲渡および換金はできません。

③その他の特典

- 財団が発行する催物案内・情報紙等を定期的にお届けします。
- 財団の主催事業で出演されたアーティストの記念品等を抽選でプレゼントします。
- その他、財団が企画する会員限定の特典サービス(近隣店舗等での優待割引など)が受けられます。

入会手続き

●ご来館によるお申し込み

入会申込書に必要事項をご記入の上、年会費を添えて、サンポートホール高松プレイガイドにお申し込みください。

●現金書留によるお申し込み

事前にお電話でご連絡の上、入会申込書に必要事項をご記入の上、年会費を添えて、下記の申し込み先へ現金書留で郵送してください。※入会申込書は、ホームページからダウンロードできます。

◆お問い合わせ・お申し込み先

公益財団法人高松市文化芸術財団内
サンポートホール高松友の会「さんぽーとCLUB」事務局
〒760-0019 香川県高松市サンポート2番1号
TEL 087-825-5010 <http://www.sunport-hall.jp/>

Shalala

vol. 39 サンポートホール通信 [季刊]シャ・ラ・ラ
2013年夏号
<http://www.sunport-hall.jp/>

- unit-Cyan(金森穰&井関佐和子) シアンの家
- ISAMU 20世紀を生きた芸術家イサム・ノグチをめぐる3つの物語
- 劇団かかし座 影絵劇「三枚のおふだ」
- サンポートホール高松デビューリサイタル 出演者募集
- 演劇どっとこむ 受講生募集
- レポート こどもの日のこどものためのコンサート
- 毬谷友子 一人芝居「弥々」

7 July	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8 August	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
9 September	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	

- ☺ 影絵…三枚のおふだ
- 🏠 シアンの家…シアンの家
- 🎭 デビュー…デビューリサイタル
- 👤 先行…友の会 先行発売日
- 👤 どっとこむ…演劇どっとこむ
- 🏠 ISAMU…ISAMU
- 🌸 弥々…弥々(12/15公演)
- 👤 一般…一般発売日

シアンの家

The House of Cyan



日時: 2013年8月18日(日) 14:00開演(13:30開場)
 会場: 第1小ホール
 チケット: 一般 4,500円 友の会 4,200円 **全席指定**
 ★終演後、金森 穰・井関 佐和子によるアフタートークあり

発売日:友の会 5月24日(金) 一般 5月31日(金)
 【演出・振付】金森 穰 【出演】unit-Cyan(金森 穰&井関 佐和子)
 【音楽】既成音楽のコーラージュ 【衣裳】中嶋 佑一
 【美術】須長 檀 【映像】遠藤 龍
 【後援】瀬戸内国際芸術祭実行委員会 【製作】高知県立美術館

※開演時間を過ぎますと、演出上の都合によりご入場を制限させていただきます。あらかじめご了承ください。

際立つ井関佐和子の存在

unit-Cyanの作品では、振付・演出家の金森が“ダンサーとして踊る”貴重な舞台として注目が集まることも多いのですが、今回の作品のポイントは、井関の“多面性”と“魅力”が存分に表現されている点です。

台本から立ち上がる2人の関係性

前作の『シアンの告白』は台本がありませんでしたが、今回は、金森が2012年の年明けに創った台本がありました。まず、曲の時間軸から書き上げた台本を元にシーン作り、そして8月になると動き作りを開始。かなり短期間で動きを作っていますが、金森の作品はシーンが明確であることと、専門性のある身体を持つ2人だからできる作業です。

『シアンの告白』は、ある種の幼さをさらけ出し合える2人の関係性を表現したもので、しかし今回は、大人の間人として今考えていること、これから考えていくことを作品化したという思いがあり、井関のソロ構想からスタート。“男である振付家と女である舞踊家”の関係性がくっきり浮かび上がるものとなりました。

シンプルな中に光るチームシアン之力

オペラのような総合芸術を目指す金森の作品において、衣裳・舞台美術・映像は決して脇役ではありません。可動域の広い2人が着ても動き易く、美しさが際立つ衣裳。無駄のない機能的なフォルムでありながら、ひとときの夢のような舞台美術。懐かしさと優しさの中に、ブラックユーモアを効かせたオリジナル映像など、今回もそれぞれ異なる楽しみがあります。また、unit-Cyanの作品は、出演者・スタッフがそれぞれの持ち場を越え、完成を目指します。今回の作品を作る際に決まっていたことは、“真っ赤な絨毯”“赤と金”“たくさんのシャンデリア”。初演会場である高知県立美術館は、劇場とは異なる空間であるため、特にシャンデリアの構想実現にはひと苦労したそうです。当初、シャンデリア50基を予定していましたが、重量の関係もあり、職人さん手彫りの燭台300個に変更。しかし、今度はそれを吊るための更なる制約に加え、膨大な数の組立・配線・操作などの終わらない作業…。それらを何とか乗り越え、出演者・スタッフ全員で完成させたシャンデリアのおかげで、誰もが簡単なコンセントを作れるまでになったそうです。unit-Cyanの作品感想に“温かさ”という表現が多いのですが、このような手作りの温かさも、自然と観客に伝わっているのかもしれない。

時を重ね成長する作品

2011年9月25日『シアンの告白』高松公演の際、初演とは異なる演出が加わりました。舞踊の未来を見つめ、常に挑戦を続ける2人にとっては、ごく自然なことかもしれませんが、実は、リハーサルの合間を縫って高松滞在の短期間で作り上げ、演出を追加したのです。2人が時を重ねるごとに、作品も変化し成長していきます。観客にとっては、再演を待つ楽しみがあるアーティストであり作品といえるでしょう。

さあこの8月、高松ではどのような舞台が見られるのでしょうか。お楽しみに!



金森 穰 Jo KANAMORI



井関 佐和子 Sawako ISEKI

『シアンの告白』アンケートより

素晴らしかったです。久しぶりにプロフェッショナルと感じさせてくれるダンス作品を観ることができました。本当に観られて良かったです。何度も観たいです。ありがとうございました!!(福岡 30代女性)

コンテンポラリーダンスは初めて見ましたが、振付も見事でしたし、2人のダンサーの完成されたダンスは思わず見とれてしまい、いつまでも見ていたいほどでした。(香川 60代女性)

有名なダンサーを都市部で見られることは当たり前だが、地方でわざわざ向いて見るのは、また違った感じがして良かった。色んな人たちに金森さんのような素晴らしい作品を見てもらいたい。(滋賀 20代女性)

とにかく全てが美しかった。色んな舞台を観てきたけど、静かに感動してしまい泣けてきた。とにかく素晴らしかった。(香川 30代女性)

バレエがんばります。(香川 10代女性)

金森さんも言われていたように、舞台がとても広く、贅沢な作りで、この会場で色んな作品を見てみたいと思いました。(東京 40代男性)

ダンサー金森穰を観たくて来たのですが、やはり良かったです。Noismの演出振付だけでなくもっと踊って欲しい。色気を感じさせる数少ない日本人ダンサーだと思います。(京都 40代女性)

高松に新しい風が吹いた気がした。身体能力の高さに本当に圧倒された。(香川 20代女性)

ISAMU

20世紀を生きた芸術家イサム・ノグチをめぐる3つの物語

日時: 2013年8月30日(金) 19:00開演(18:30開場)
 会場: 大ホール
 チケット: 一般 6,000円 友の会 5,500円 **全席指定**
 発売日: 友の会 6月14日(金) 一般 6月21日(金)

【原案・演出】宮本 亜門
 【脚 本】鈴木 哲也、宮本 亜門
 【企画製作】株式会社バルコ
 【協 力】KAAT神奈川芸術劇場
 【後 援】瀬戸内国際芸術祭実行委員会

宮本亜門が創りだすイサムの世界 3年の創作期間を経て、いよいよ本公演!

イサム・ノグチは、20世紀の訪れとともにこの世に生を受け、二つの戦争と時代の変貌の中を生きた彫刻家です。彼は日本人の父とアメリカ人の母のもとに生まれ、二つの国の狭間で葛藤しながら生き、「創る」、あるいは「創り続ける」ことによって自分自身の存在意義を見いだした一人の男です。

「イサム・ノグチ」を舞台化するにあたり、2011年から、その創作は始まりました。様々なアプローチで「イサム・ノグチ」をどう描けばよいのか、試行錯誤を繰り返してきました。それは彼のあまりにも壮大な思考ゆえのジレンマでもありました。

そして、演出家 宮本亜門が見いだした「イサム・ノグチ」が、この本公演でついに結実します。彼の人生の幾つかの断片と、現代のニューヨークでイサムの作品に触れる人々の物語を交錯させながら、イサム・ノグチの人物像と、その芸術の根底に流れる源泉を探る物語として、3つのストーリーの断片が組み合わせられながら進行していきます。

芸術家の物語「イサム・ノグチ」。ぜひ、ご期待ください。

【出 演】



窪塚 洋介 美 波 ジュリー・ドレフュス 小島 聖 大森 博史



宮本 亜門

ボブ・ワーリー、犬飼 若博、神農 直隆、植田 真介、天正 彩、池袋 遥輝(子役) ほか

「イサム・ノグチ」創作記録

第1回 ワークイン・プログレス

2011年11月3日(木)~11月6日(日)
 KAAT神奈川芸術劇場 8Fアトリエ
 ■構成・演出/宮本 亜門 ■脚本/西森 英行
 ■映像/栗山 聡之 ■照明/大石 真一郎 ■音響/KAAT音響部
 ■舞台監督/安田 武司 ■主催/KAAT神奈川芸術劇場(公益財団法人神奈川芸術文化財団)
 ■出演/ヨシダ 朝、犬飼 若博、柳橋 朋典、岡田 あがさ

第2回 プレ公演

2013年1月24日(木)・1月25日(金) サンポートホール高松 第1小ホール
 ■演出/宮本 亜門 ■脚本/倉持 裕、宮本 亜門 ■美術/伊藤 雅子
 ■衣裳/堂本 教子 ■選曲/吉田 関人 ■映像/新生 瑠人、栗山 聡之
 ■照明/渥美 友宏 ■音響/中島 正人 ■ヘアメイク/川端 富生
 ■演出助手/陶山 浩乃、草光 純太 ■舞台監督/北林 勇人
 ■主催/公益財団法人高松市文化芸術財団、高松市
 ■出演/瀬川 亮、大森 博史、ヨシダ 朝、森 ぼさち、神農 直隆、岡田 あがさ、植田 真介

横浜公演

公演日程=2013年8月15日(木)~8月18日(日)
 会場=KAAT神奈川芸術劇場 ホール
 入場料金=S席6,800円、A席4,500円(全席指定・税込)
 主催=KAAT神奈川芸術劇場(公益財団法人神奈川芸術文化財団)
 お問い合わせ=チケットかながわ 045-662-8866

東京公演

公演日程=2013年8月21日(水)~8月27日(火)
 会場=バルコ劇場(渋谷バルコバート19F)
 入場料金=7,800円(全席指定・税込)
 お問い合わせ=バルコ劇場 03-3477-5858

あらすじ
 むかしむかし
 お寺の小僧さんが
 止て栗ひろこに
 夢中になっていさうち
 とつぷりと
 日が暮れてしまった。
 泊めてもらった
 一軒家の主は
 なんとこわいやまんば。
 包丁をとく音に
 目をさました
 小僧さん
 びつくりぎょうてん
 逃げだした！
 魔よけのおふだで
 「岩山ではれ〜！」「
 「大水ではれ〜！」「
 だげどやまんば
 ものともせず
 追っかけてくる。
 はたして
 小僧さんは…？

劇団 **かかし座** **影絵劇**
三枚のおふだ

みなさんは、壁や障子に影を映して遊んだことはありませんか？
 慣れ親しんだ影遊びが、プロの技によって美しく、楽しい影絵劇となってサンポートホール高松にやってきます。
 かかし座は、昨年で創立60周年を迎えた日本初の影絵専門の劇団です。
 NHK専属劇団として発足し、「みんなのうた」や「おかあさんといっしょ」シリーズにも多数出演。
 また、近年ではコブクロの「蕾(つぼみ)」のプロモーションビデオで見た感動的な手影絵が話題となりました。
 サンポートホール高松が行っている地域への出前公演「デリバリーアーツ」や「学校巡回芸術教室」でも常に人気が高く、今回、満を持してのホール公演となります。
 かかし座の魅力は、カラフルで透明感あふれる影絵。そして、影絵人形を操るだけでなく、影と俳優と一緒にしゃべったり、追いかけられたり、舞台いっぱいをつかって繰り広げられる大活劇です。影絵ならではのスピード感あふれる展開にハラハラドキドキすること間違いなし！
 また、手で作ったウサギや鳥が、まるで本物のように自由に動き、くるくると姿を変える手影絵も必見です。お話の前には、手影絵パフォーマンス&体験ワークショップもありますので、たくさん覚えて帰りましょう。
 0才から入場できますので、是非、ご家族みなさんでお楽しみください。

【手影絵パフォーマンス&体験ワークショップ】
 命を吹き込まれた手影絵による、楽しさいっぱいのパフォーマンス。
 ウサギが!ペンギンが!ゴリラが!走る!飛ぶ!そして踊る!
 パフォーマンスを観た後は、今度は子どもたちがプロの技にチャレンジ。
 実際にスクリーンに映してみよう!



日 時: 2013年9月21日(土) 14:00開演(13:30開場)
 会 場: 第1ホール
 チケット: 一般 1,800円 友の会 1,500円 **全席指定**
 発売日: 友の会 7月12日(金) 一般 7月19日(金)
【上演時間】1時間10分(休憩なし)
 * 3歳以下のお子さまは無料。ただしお席が必要な場合は有料。
 * ベビーカーはロビーでお預かりします。



サンポートホール高松
**デビュー
 リサイタル**
 Sunport Hall Takamatsu Debut Recital



公演終了後、ロビーにて

サンポートホール高松が、地元の音楽家をサポートしようと、2012年3月の公演からスタートさせたプログラム。
 2回目となる2013年3月の公演では、4人の音楽家がリサイタルデビューを飾りました。多数の応募の中から選ばれた4人。ピアノ、フルート、声楽、それぞれ表現するものは違いますが、どの出演者も初めてのリサイタルとは思えないほど堂々とした姿で、多くの観客を魅了しました。公演終了後は、恩師や同級生に囲まれホッとした表情を見せていたのが印象的でした。
 3回目の開催となる2014年3月、あなたもサンポートホール高松で大きな一歩を踏み出してみませんか？



黒瀬 正浩 (ピアノ)



香川 恵理 (フルート)



上田 花奈 (フルート)



松岡 璃子 (メゾソプラノ)

Sunport Hall Takamatsu Debut Recital
第3回 サンポートホール高松 デビューリサイタル 出演者募集

- 日 時** 2014年3月2日(日) (予定)
- 会 場** 第1小ホール **募集人数** 2名程度 **対象ジャンル** クラシック **演奏部門**(声楽・器楽)・作曲部門
- 応募資格** ●リサイタルデビュー前の香川県出身者または在住者で、今後も音楽家として活動を継続する意思がある方
●18歳以上の方(2013年4月1日現在) ●ソロまたはジョイントリサイタルが開催可能な方
- 締 切** 2013年8月23日(金)必着 持参の場合は17:00まで
※詳しくは募集要項をご覧ください。
※申込書・募集要項は、サンポートホール高松のホームページからダウンロードできます。http://www.sunport-hall.jp

選考スケジュール	2013年8月1日	8月23日	9月上旬	9月中旬	10月13日	10月下旬
	受付開始	募集締切	音源選考	音源選考結果発表	最終選考	結果発表



平成25年度
 文化庁劇場・音楽堂等
 活性化事業

特別協賛:公益財団法人松平公益会

演劇 ひとつとこむ

受講生 募集!!



日時：10月～2014年2月 各日19:00～21:00
会場：第1リハーサル室ほか
対象：高校生以上(経験不問) ※原則全日参加できること。
詳細はホームページをご確認ください。

興味が湧いたらウゴキドキ

昨年からスタートしたこの事業は、3年にわたり様々な演劇の手法をじっくり学びます。2年目となる今回は、7名の講師と半年間、各コースに分かれてワークショップに取り組み、最終日には、俳優コース受講生による公開リーディングを予定しています。ここでは、第一線で活躍する各講師が、演劇とどのように出会ったのかご紹介しましょう。

☎…演劇に出会ったきっかけ

劇作家コース(全3回)

受講料 一般9,000円/学生6,000円 定員 10名

20分の戯曲を書く

- 10月14日(月・祝)
- 11月 9日(土)
- 12月23日(月・祝)

柴 幸男 (劇作家・演出家)

☎漫才師になるのをあきらめたとき、たまたま見かけたテレビドラマ。その面白さと頭の使い方に感動しました。脚本家の名前は三谷幸喜。本職は劇作家だと知りました。漫才師は無理だったけど、脚本家になったらなれるかもしれない、中学生の僕は考えました。そして僕は、演劇部のある高校を受験することになります。それが演劇を、はじめた、きっかけです。



俳優&リーディングコース(全5回)

受講料 一般15,000円/学生10,000円 定員 20名

セノグラフィー 舞台美術の世界に触れる

- 10月19日(土)

杉山 至 (舞台美術家)

☎高校の文化祭で知り合いの子が演劇をやっていて、初めて同世代の人が演じているのを間近で見て、小学校で見た演劇鑑賞教室のような道徳的体験とはまったく違ってのが新鮮だった。それから大学で平田オリザと出会ってしまったところから、今まで続いています。



身体と言葉のエクササイズ

- 11月16日(土)

上村 聡史 (演出家)

☎たくさんの映画を見た十代後半、スクリーンに映る俳優の表情に魅了されました。いつしか興味は、「演技」というものに。「演技を勉強するなら、映画よりも演劇かな」と軽い気持ちで足を突っ込んだ演劇。今では演技する側ではなく演技を引きだす側へ。スクリーンでは感じることでできなかった俳優の身体全体から出る熱量、その熱量との出会いこそ私が思う演劇との出会いです。



遊びながら『世界』に触れてみよう!

- 1月11日(土)

坂口 芳貞 (俳優・演出家)

☎営林署に勤務して「野鳥とともに」を夢見て北大に入った。親友が、「演劇研究会がつぶれそうなんだ。お前体力あるから、今回だけ道具手伝って!」「まあいいか」と行った部室でいきなり「君これ読んで!」初めて見る戯曲という代物。「嫌ですよ、こんなもの!叩きにきただけだから」頑強に断った。上級生の一人が「読むだけだぞ、それも嫌なのかよ、ケチ!!」「ケチ」という一言に、カッとした馬鹿。



身体を少しつかって 楽しく演技に挑戦

- 2月15日(土)

矢内原 美邦 (振付家・演出家)

☎私が演劇を始めたのは35歳の時です。何故?演劇に出会ったのか?それはわかりません。なんとなくです。幼い頃から本や漫画を読むのが好きで、ゲームやアニメが好きでした。今の自分を忘れて1人の世界でいろいろできるのが好きでしたが、それとは正反対の位置にある舞台は、私が唯一他人とコミュニケーションできる場所なのだと思ったりして。なんとなくやってみるとコミュニケーションが一番嫌いだと思っていましたが、好きなことでもありました。



演劇LOVEワークショップ

- 2月17日(月)～23日(日)

多田 淳之介 (演出家)

☎演劇を観て感銘を受けたというよりも、始めてみたら面白かった。学生時代は映画学科で映画を撮るよりも演劇のほうが手取り早かった。スポーツとか音楽みたいに、やってみてから好きになりました。演劇だって観るだけのものじゃなくて、観たりやったりするものですから。



平田オリザのアートマネジメント講座(全2回)

受講料 各日一般1,000円/学生500円 定員 各日100名

新しい広場を作る

- 1月10日(金)
- 1月17日(金)

平田 オリザ (劇作家・演出家)

劇場は単に演劇や音楽を楽しむ場ではありません。劇場は作品を作る場所であり、また作品について語り合う場所でもあります。さらに、近年は、芸術家を近隣の学校や病院に派遣したり、就労支援や、障害を持った方たちの社会参加の場としても期待されています。この講座では、劇場の新しい役割を市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。学問的な難しい話ではありません。気軽にご参加ください。



こどものためのコンサート

0133333
0133333



日時 2013年5月5日(日・祝) 14:00開演
会場 第2小ホール
プログラム オープニング
家族みんなで歌合戦
会場いっぱいみんなで歌おう
エンディング

今年の家族みんなで歌合戦は、13組ものファミリーが登場! ファミリーに届いたお客さまの声とともに、コンサートの様子を紹介します。

石原ファミリー

「大きな古時計」
トップバッターお疲れさまです。
歌い終わったときのホッとした笑顔が、2人ともかわいかったです。

入屋ファミリー

「揺籠のうた」
親子3代素敵なハーモニーでした。振りつけ、とてもよかったです。

永野ファミリー

「故郷」
家族のほほえましいハーモニー。心がなごみました。

森ファミリー

「翼をください」
白のドレスがかわいかったです。曲も私の大好きな曲と一緒に歌いたかったです。

重田ファミリー

「むすんでひらいて」
かわいかったです。うちのこどもと一緒にむすんでひらいてしていました。

上原ファミリー

「思い出のアルバム」
お姉ちゃんのピアノと、何ととっても堂々とした指揮と歌。将来が楽しみです。

山本ファミリー

「いぬのおまわりさん」
お姉ちゃんの軽快なピアノと、妹ちゃんのかわいい振りつきの歌で、姉妹っていいなあと思いました。

中岡ファミリー

「上を向いて歩こう」
お嬢ちゃんが可愛い。お父さんのピアノの弾き語りよかったです。

三好ファミリー

「大きな古時計」
本当に家族でこれだけ楽器&歌がそろるとすごいですね。

木村ファミリー

「手のひらを太陽に」
4人の動き、歌がきれいにそろって振りもかわいかったです。ラストのハモリもよかったです。

藤本ファミリー

「大きな古時計」
リコーダー、いい音でした。お父様のギターの優しい音にあわせてご家族で歌えるのはとっても素敵です。

岡ファミリー

「上を向いて歩こう」
全員集合の楽しさでこれですね。皆さんの笑顔最高でした。

松原ファミリー

「どこかで春が」
本当にすばらしい声でした。もっと聞いていたかったな。白いドレス素敵でした。

会場いっぱいみんなで歌おう



会場いっぱいみんなで歌おうでは、歌にまつわるお話を聞きながら、客席のみなさんと一緒に歌いました。途中からはお客さまもステージへ!アンサンブルに合わせて歌うという貴重な体験をしました。「幸せなら手をたたこう」では、みんなで肩やほつべたをたたきあって、とっても幸せな空間が生まれました。エンディングでは、たくさんのお客さまがステージに上がり、「背くらべ」を大合唱!華やかにコンサートを締めくくりました。

その他催しも大好評でした!



このほりに
▲ロビーには大きなこのほりが泳いでいたよ。
作品展示
▲歌合戦にも負けずいろいろいい絵が入口でお出迎え。瀬戸内保育所5歳児ぞうくみさんの作品です。
おりがみコーナー
▲おりがみコーナーはいつも大盛況!たくさんこのほりを折ったよ!